

第62回

医学教育セミナーとワークショップ in 兵庫医大

開催要項・参加者募集

医学教育開発研究センターは、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。第62回医学教育セミナーとワークショップは、兵庫医科大学との共催で開催いたしますので、奮ってご参加ください。

兵庫医科大学医学教育センター 鈴木敬一郎
 岐阜大学医学教育開発研究センター 藤崎和彦

2016年10月22日(土)～23日(日) 兵庫医科大学 西宮キャンパス

- パネルディスカッション-1 医学教育IRの挑戦～ブレイクスルーを求めて R
- パネルディスカッション-2 医学教育分野別認証では何を評価されるのか A
- WS - 1 模擬患者大交流勉強会 TL
- WS - 2 海外臨床実習に向けた準備教育 CD
- WS - 3 CBRマトリックスで地域資源や患者生活の包括的診断をしてみよう TL
- WS - 4 TBLを体験しよう CD
- WS - 5 学生のリサーチマインドを涵養しよう CD
- WS - 6 医療安全に配慮した多職種連携でのファシリテーター育成シナリオの作成 TL
- WS - 7 学部生活の振り返りによるキャリア意識醸成の新手法 ML
- セミナー 多職種連携教育ツールiPEDによる学生教育と患者教育の接続
 —参加者インタビューの質的分析— TL

2016
秋

* 記号(TL 等)は、アソシエイト認定のための学習領域を表しています。詳細は、MEDCホームページ「[アソシエイト・フェローシップのご案内](#)」をご覧ください。

		プログラム					
22日 (土)	13:00 ~ 17:00	P-1	WS-1~	WS-2~	WS-3	WS-4	WS-5
	夕	セミナー					
	夜	懇親会					
23日 (日)	9:00 ~ 13:00	P-2	~WS-1	~WS-2	WS-6	WS-7	

P-1 医学教育IRの挑戦～ブレイクスルーを求めて

R

企画：恒川幸司（MEDC）、荒井貞夫（東京医科大学）、中村真理子（東京慈恵会医科大学）、岡田聡志（千葉大学）、神山千晴（岐阜大学）

日時：2016年10月22日(土)13:00～17:00（4時間）

概要：分野別認証評価受審や教育改善を目的として、各大学ではIR（Institutional Research）部門が設立されてきている。第60回の医学教育セミナーとワークショップでは、各大学のIR部門員やこれからIR部門設立を考えている教職員が集まり、各大学の医学教育におけるIRについて議論し、課題や解決策を考えた。そこで今回は、前回のワークショップ時に挙げた「教学IRを行う上でのさまざまな課題」にフォーカスして、参加者同士で討議しながら、各大学の取り組みをパネルディスカッション形式で紹介する。

対象：IRを担当している、またはIRに興味のある教職員

(定員50名)

P-2 医学教育分野別認証では何を評価されるのか

A

企画：鈴木敬一郎（兵庫医科大学）、福島 統（東京慈恵会医科大学）、羽野卓三（和歌山県立医科大学）

日時：2016年10月23日(日)9:00～13:00（4時間）

概要：日本医学教育評価機構（JACME）が発足し、分野別認証が開始されました。既にいくつかの大学の受審結果は公開されています。そこで1年目の経験を振り返りながら、分野別認証では何を評価されるのかを考えたいと思います。問題となりそうな箇所について模擬ヒアリングなども実施し、ざっくばらんな討論をしたいと思います。

対象：これから医学教育分野別認証評価を受審される大学の教職員

(定員30名)

WS-1 模擬患者大交流勉強会

TL

企画：藤崎和彦（MEDC）、比留間ゆき乃（兵庫医科大学）、山口育子（NPO法人ささえあい医療人権センターCOML）

日時：2016年10月22日(土)13:00～17:00、23日(日)9:00～13:00（8時間）

概要：模擬患者大交流勉強会は、これまで岐阜、東京、徳島、札幌、広島、千葉、沖縄、博多、埼玉、香川と全国各地で行われてきましたが、今回は関西！兵庫で行います。模擬患者参加型教育は発展し続け、医療者教育においてさまざまな場で模擬患者が活躍しています。なかでも、近年医療者教育で注目されるシミュレーション教育においても、「生きた教材」としての模擬患者が必要とされています。今回の初日のSP交流会は、例年この時期に関西地区でSP交流会を実施している伝統のあるSPグループのNPO法人ささえあい医療人権センターCOMLのSP交流会とのジョイントしての開催になります。また2日目は、シミュレーションにおける模擬患者の体験も盛り込んだ内容で勉強会を行います。大阪や神戸にアクセス抜群の場所です。今年度もぜひご参集いただき、交流を深めましょう。
事前課題：日常の活動の中で、困っていることや悩んでいることなど、話し合いたい内容を考えてきてください。

対象：模擬患者参加型教育にかかわる模擬患者、教員、指導者、学生、研修医、医療スタッフ

(定員60名)

WS-2 海外臨床実習に向けた準備教育

CD

企画：押味貴之（日本大学）、高橋優三（兵庫医科大学）、James Thomas（慶應義塾大学）

日時：2016年10月22日(土)13:00～17:00、23日(日)9:00～13:00（8時間）

概要：多くの医学部では6年時の選択臨床実習として、海外での臨床実習の機会を提供しています。この海外での臨床実習では病歴聴取、身体診察、症例報告、EBMのディスカッションといった、かなり高度な英語コミュニケーションスキルが求められます。こういった高度な英語コミュニケーションスキルに関して、私たちはどのように教育機会を与えていけばいいのでしょうか？また帰国した学生から得られた知見を効率的に後進の学生に伝えていくにはどのようなシステムを構築していけばいいのでしょうか？

この1泊2日のワークショップでは、この難しい課題を現実的に解決するためのアイデアをたくさん見つけていただきます。

事前課題：海外での臨床実習に向けた準備教育として、以下の3つの項目について、皆さんの大学ではどのようなことが可能か、できるだけ具体的に考えてきてください。

1. What? 準備教育としてどのような内容を教育する必要があるのか？
2. Who? 準備教育を実施するにあたり、具体的にどのような人材を教員として活用できるのか？
3. How? 具体的にどのように準備教育を実施するのか？

対象：海外臨床実習支援でお困りの教職員

(定員40名)

WS-3 CBRマトリクスで地域資源や患者生活の包括的診断をしてみよう

TL

企画：高橋敬子（兵庫医科大学）、岩隈美穂（京都大学）、尻無浜博幸（松本大学）

日時：2016年10月22日(土)13:00～17:00（4時間）

概要：医療従事者が日々接する患者さんたちは、退院後どんな生き方をするのでしょ。少子高齢化、多死社会を迎え、地域包括医療への関心が高まっています。ガイドラインにも「地域医療ビジョン策定にあたり医療と介護の連携のみならず、生活や街づくり等とも連携の必要」とあり、地域ごとの資源を把握する必要があります。また患者を「生活者」として支えるため、生活状況を全体的に整理し判断することも重要となります。このワークショップでは、WHOで考案され90以上の国や地域で実践されているCommunity Based Rehabilitation (CBR)マトリクスを使って、地域リソースを判断したり、病院にいる間はなかなか見えにくい患者さんの退院後の「その後の人生」を包括的に見渡したりする方法を楽しく学ぶことを目標とします。

事前課題：CBRマトリクスで考えたいケースをA4 1枚にまとめる。

対象：地域医療、プライマリーケア、在宅医療、他職種や地域との連携などに興味がある方

(定員15名)

WS-4 TBLを体験しよう

CD

企画：成瀬 均・今西宏安・田中 進・橋本ゆかり（兵庫医科大学）

日時：2016年10月22日(土)13:00～17:00（4時間）

概要：医学教育におけるActive learningの方法としてチーム基盤型学修TBLが知られています。本学では導入して7年目となり、運営に苦勞しながらも改善を重ね、ICTを段階的に取り入れていき、今では本学の特徴的な教育法にまで育ったと自負しています。

そこで、このワークショップでは、一緒にリソースパーソンとなってTBLの課題を考えていただくと同時に、学生の立場に立って問題を解いてもらう体験をしていただきます。課題作成の準備段階で出てくる問題点を共有し、私達と一緒に解決していきましょう。

未経験の方はTBLがどのようなものかを知っていただき、学生が眠くならない、active learningの名に恥じない教育方法であることを知っていただくだけでも十分です。

対象：近々TBL導入を考えている方、導入したが運営に悩んでいる方、TBLのことを全く知らない初心者

(定員30名)

WS-5 学生のリサーチマインドを涵養しよう

CD

企画：鈴木敬一郎・森本 剛（兵庫医科大学）、藤本眞一（奈良県立医科大学）

日時：2016年10月22日(土)13:00～17:00（4時間）

概要：「基礎医学研究者の減少のみならず、臨床を含めMD研究者の減少、若手医師の研究離れは深刻な状況です。学位取得よりも専門医という風潮も強まる一方です。これに対して各大学ではリサーチマインド涵養プログラム、あるいはMD・PhDコース、研究医コースなどの研究者養成カリキュラムが実施されていますが、その成果は未知数です。本企画では兵庫医大や奈良医大のユニークな取り組みを紹介し、各大学での取り組みを共有しながら、新たな方策を考えていきたいと思っています。兵庫医大研究医コースの学生なども一緒に参加し、学生側の意見も聞きながら議論したいと思います。

対象：MD・PhDコース、研究医コースなどの研究者養成カリキュラム、あるいは全学生対象にリサーチマインドを涵養するカリキュラムを実施、運営またはこれから計画の方

(定員30名)

WS-6 医療安全に配慮した多職種連携でのファシリテーター育成シナリオの作成

TL

企画：高橋敬子（兵庫医科大学）、利木佐起子（佛教大学）、山口 円・平山亜矢子（兵庫医科大学）

日時：2016年10月23日(日)9:00～13:00（4時間）

概要：実臨床では、多職種連携(IPW)はチーム医療と同義ととらえられ、何らかの医療分野に特化した多職種構成の専門集団チームと捉えられる場面があるが、実際には、各職種が、自身の職の使命のもとに、自らが求められる役目を相互連携しながら患者中心医療のために力を尽くすことが望ましい。またIPWの実践には必ずしも医師はリーダーではなく、医師以外の関連職種が医療の場面によってはファシリテーターやフォロワーとなって行動することが望まれる。IPW実践のための職種間で生じうる問題点を話し合いIPWに対する教育に用いることができるシナリオを作成する。また兵庫医科大学病院で行っている医療安全をテーマとしたロールプレイ演習のシナリオとDVDを紹介する。

事前課題：「ご自分の職以外の職種の力を借りたい場面」や「多職種で係ったからうまくいった経験」など、その他、IPWに関する場面を想定した場面を簡単な文書にまとめてご持参ください。当日は皆さんで話し合い、皆様が教育の場面で使用できるシナリオを完成できればと考えております。

対象：医療における多職種連携教育に興味のある教員、指導者、職員、学生、研修医、医療スタッフ

(定員20名)

WS-7 学部生活の振り返りによるキャリア意識醸成の手法

ML

企画：柴田綾子（淀川キリスト教病院）、藤井達也（山王病院）、莊子万能（大阪医科大学）、照屋周造（東京大学病院）

日時：2016年10月23日(日)9:00～13:00（4時間）

概要：「医者になって何がしたいのか」、「そのために今何ができるのか」。大学の医学教育を通じてこうしたキャリア意識を醸成することが、学生の学習意欲の増大やカリキュラムへの主体的な参加を促し、医師の質の向上につながる。キャリア意識の醸成に当たっては、学生が自身のバックグラウンドや経験の棚卸し・意味付けを行うとともに、現場で働く医療者の職業観に触れる（ロールモデリング）ことが効果的だが、現在の臨床実習をはじめとする学部教育はそうした機会に乏しく、学生のキャリア意識醸成のための新たな教育カリキュラムの導入が必要である。本ワークショップは、既存の臨床実習等の体験をキャリア意識醸成に結びつけるための「振り返り」プログラムの開発を目的とし、医学教育関係者と学生に実際にプログラムに参加していただきながら、その有効性の検証を行う。

対象：医学教育の構築・実践に携わるすべての方

(定員30名)

セミナー 多職種連携教育ツールIPEDによる学生教育と患者教育の接続 —参加者インタビューの質的分析—

TL

講師：肥田 武（名古屋大学）

日時：2016年10月22日(土)17:15～18:15

概要：IPEの成功の前には、時間的障壁、空間的障壁、文化的障壁が立ちはだかっています。またIPEを学生教育だけに終わらせずに、患者アウトカム改善にまで繋げる必要性も提言されています。そこでこれらの課題に応えるため、多職種連携教育ツールIPED（Interprofessional education device）を開発しました。これは独自SNSを用いて、学生同士や、学生と患者とを繋ぐものです。これを使えば、いつでもどこでもIPEが可能になるほか、実際の患者が参加できるため、学生に対する教育効果はもちろん、患者に対する教育効果をも併せて期待できます。今回は1年間の小規模トライアルの効果を経験的に分析した結果をご報告します。

参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。
「MEDC」で簡単検索できます。

締め切り：2016年10月10日（月）

ホームページからお申し込みできない方は、お電話（058-230-6470）にてご連絡ください。
ワークショップ運営上、各々定員を設けております。
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

参加費： 2,000円（資料代） 学部学生無料

懇親会費： 5,000円

参加費・懇親会費は、受付時に徴収いたします。
資料代は、資料ならびに第62回セミナーとワークショップの報告が掲載されている、「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。参加者には後日、「新しい医学教育の流れ」の冊子およびCD-ROMを送付いたします。（学部学生への送付はありません）

会場： 兵庫医科大学 西宮キャンパス
（〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号）

アクセス



- 阪神電鉄・武庫川駅下車、西出口より徒歩5分
- 阪神電鉄・甲子園駅下車、タクシーで約5分
- JR甲子園口駅下車、タクシーで約10分
- ▲ お車でのご越しの場合は大学病院駐車場（有料）をご利用ください

敷地内建物配置図

